



令和4年8月

## PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

### PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃より PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号のご案内とともに、日本国内委員会よりお知らせさせていただきます。最新号は、前号に続きカルガリー-冬期大会の受賞論文の特集となります。今号では、PIARC 賞に次ぐ Honourable Mention 賞を受賞した5つの論文が掲載されています。日本からの受賞論文 2 編も掲載されております。巻頭では、ヤングプロフェッショナル部門にて受賞された論文の執筆者である大橋様が紹介されております。ぜひご一読ください。

### 1. ROUTES/ROADS 最新号 (393 号)



### 【特集】カルガリー-冬期大会 The Honourable Mention

#### 【今号の発行にあたって】

2022年2月に、カルガリー-冬期大会が開催されました。前号と今号の特集に掲載された受賞論文を含め、大会での全てのプレゼンテーションや論文等をご覧いただけるプロシーディングスを近々公開予定です。公開されましたら改めて皆様にお知らせいた

します。

一方で、2023年10月2日から6日に開催される第27回世界道路会議（プラハ大会）の準備が着々と進んでいます。本大会は、対面で開催される予定であり、オンラインでは難しい円滑で活発な議論が期待されています。皆様の積極的なご参加をいただければ、大変有難く思います。

#### ～プラハ大会の論文概要の提出期限せまる！～

現在、プラハ大会に向けて、論文概要（アブストラクト）を募集中です。2022年8月26日が論文概要の提出の締切です。多くの皆様にご応募を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

プラハ大会論文概要提出サイト  
[PIARC | Prague 2023 | Guidance](#)



### 2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介★ -4 頁
- 【今号の特集】
- ✓ AI を用いた路面温度予測モデル -10 頁
- ✓ スペイン道路網のレジリエンスの向上にむけた取組 -17 頁
- ✓ 車載カメラでの走行ビデオ画像を活用した道路視認性確認システムの開発★ -28 頁
- ✓ SISMT 法：都市道路・都市周辺道路における地震リスクの決定のための予備評価ツール -36 頁
- ✓ 日本の高速道路における準天頂衛星システムを活用した自律除雪車の開発★ -47 頁
- ✓ プラハ大会の論文募集 -56 頁

★は日本の専門家に関する記事・日本の論文です。

### 3. PIARC テクニカルレポートのご紹介

#### 【レポート名】「用意周到なプロジェクト」の事例集

#### 【レポート概要】

本報告書は、タスクフォース 1.1「用意周到なプロジェクト」によって取りまとめられた報告書です。この報告書では、プロジェクト監理に関する世界の事例を収集・分析しており、分析対象は、世界 10 カ国の 18 件のプロジェクトです。

結論として、進捗や予算の面で計画通りに進んだ「用意周到なプロジェクト」の共通点は、下記 3 点（1. ステークホルダー・マネジメント、2. リスクマネジメント、3. コミュニケーションマネジメント）が十分に監理されていることであると述べられています。具体的には下記に記載します。やや一般的な結論ではありますが、本報告書が、国際的な道路プロジェクト携わる皆様の業務の参考になれば幸いです。

<1. ステークホルダー・マネジメント> 利害関係者との法的に必要な協議に加え、法的な必要性がなくても自主的に協議をすること、またプロジェクトの準備段階から継続的に協議すること、が重要であるとされています。

<2. リスクマネジメント> プロジェクトにおける不確実性をピックアップし、それによるリスク（特に、影響度の大きい技術的リスク・事故リスク・災害リスク）に対する防止・軽減措置を講じることが重要であるとされています。

<3. コミュニケーションマネジメント> プロジェクトの公平性や透明性の観点から、あらゆる媒体を用いた一貫した広報戦略が重要であるとしています。また、比較的新しい広報媒体である SNS の活用も重要なポイントとされています。

レポート紹介ページ

[Detail of a publication | Virtual Library of PIARC | Well-Prepared Projects](#)

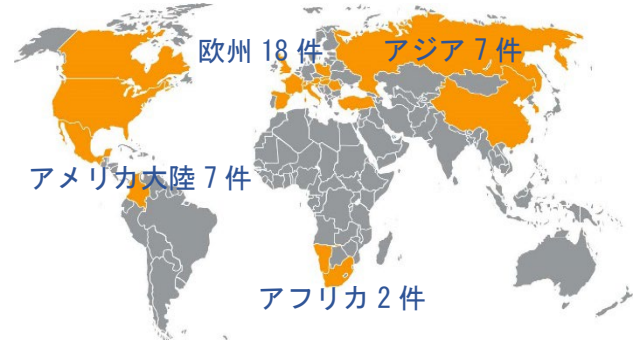


#### 【レポート名】道路インフラにおける融資と財務の事例集

#### 【レポート概要】

本報告書は、技術委員会 1.3「財務と調達」によって取りまとめられた報告書です。この報告書では、世界の 22 か国 34 件のプロジェクト（下図）が紹介されており、異なる資金調達手法をもつ各プロジェクトでの長所と短所が詳述されています。これら事例が、国際的な PPP 案件等に携わる皆様の参考になれば幸いです。

例えば、カナダの橋梁プロジェクトにおいては、受注者が、建設・管理のための資金を調達し、通行料ではなく 30 年間で受取るアベイラビリティペイメント (AP) により返済する方法が採用されています。長所として、政府機関からの AP という高い信用力のため、また交通需要リスクを負わないため、受注者が有利な資金調達を行えたこと、早期の AP 受領をインセンティブとした早期の完工が挙げられています。一方、短所として、簡素化された入札のため、当初予定工法の合意がなく、工法変更による建設費増分の支払いがなかったことが挙げられています。



レポート紹介ページ

[Detail of a publication | Virtual Library of PIARC | Best Practices in Funding and Financing of Road Infrastructure](#)



PIARC 活動に関するご意見、ご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 安藤: [ando@road.or.jp](mailto:ando@road.or.jp)

PIARC 本部事務局 妹尾: [kei.senoo@piarc.org](mailto:kei.senoo@piarc.org)